

令和元年6月30日時点における先進医療Bの
 終了予定日、計画時患者数、登録症例数、協力医療機関数及び年間実施件数

告示 番号	先進医療技術名	申請医療機関名	適用年月日 (再掲)	終了予定日	計画時患 者数	登録症例 数	協力医 療機関 数	年間実施件数 (平成30年7月～令和元年6 月までの実績) (再掲)
1	パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん、卵巣がん又は原発性腹膜がん	埼玉医科大学国際医療センター	平22.5.1	令1.11.1	654	655	43	-
2	十二種類の腫瘍抗原ペプチドによるテラーメイドのがんワクチン療法 ホルモン不応性再燃前立腺がん(ドセタキセルの投与が困難な者であって、HLA-A24が陽性であるものに限る。)	久留米大学病院	平22.6.1	平30.5.31	91	69	6	-
4	重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する脳死ドナー又は心停止ドナーからの膵島移植 重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病	公立大学法人福島県立医科大学附属病院	平22.11.1	令3.5.20	20	9	5	2
5	ペトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	静岡県立静岡がんセンター	平24.1.1	令3.12.31	800	804	49	-
6	ゾレドロン酸誘導γδT細胞を用いた免疫療法 非小細胞肺がん(従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。)	東京大学医学部附属病院	平24.6.1	令1.6.30	85	26(3)	1	4
7	コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法 コレステロール塞栓症	独立行政法人 地域医療機能推進機構 仙台病院	平24.11.1	令1.12.31	35	34	13	6
8	NKT細胞を用いた免疫療法 頭頸部扁平上皮がん(診断時のステージがIV期であって、初回治療として計画された一連の治療後の完全奏功の判定から八週間以内の症例(当該期間内に他の治療を実施していないものに限る。))に限る。	千葉大学医学部附属病院	平25.3.1	令5.3.31	66	23	0	-
9	C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変に対する自己骨髄細胞投与療法 C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変(Child-Pugh分類による点数が七点以上のものであって、従来の治療法(肝移植術を除く。))ではその治療に係る効果が認められないものに限る。)	山口大学医学部附属病院	平25.6.1	令4.3.31	34	3	0	-
10	経皮的乳がんラジオ波焼灼療法 早期乳がん(長径が一・五センチメートル以下のものに限る。)	国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院	平25.8.1	令5.7.31	372	372	8	-
11	インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	国立研究開発法人国立がん研究センター東病院	平25.8.1	令8.3.18	38	38	17	11
12	冠動脈又は末梢動脈に対するカテーテル治療におけるリーナルガードを用いた造影剤腎症の発症抑制療法 腎機能障害を有する冠動脈疾患(左室駆出率が三十三パーセント以下のものを除く。)	国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	平25.10.1	平28.9.30	60	60	1	-
14	腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん	慶應義塾大学病院	平26.1.1	令7.5.26	225	143	12	52
16	アルテプラゼ静脈内投与による血栓溶解療法 急性脳梗塞(当該疾病の症状の発症時刻が明らかでない場合に限る。)	国立循環器病研究センター	平26.5.1	平31.3.31	300	131	40	1
17	放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法 初発の中樞神経系原発性リンパ腫(病理学的見地からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫であると確認されたものであって、原発部位が大脳、小脳又は脳幹であるものに限る。)	埼玉医科大学国際医療センター	平26.6.1	令11.9.29	130	122	29	30
19	FDGを用いたポジトロン断層撮影によるアルツハイマー病の診断 アルツハイマー病	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター	平26.8.1	令1.12.31	190	138	10	34

告示番号	先進医療技術名	申請医療機関名	適用年月日 (再掲)	終了予定日	計画時患者数	登録症例数	協力医療機関数	年間実施件数 (平成30年7月～令和元年6月までの実績) (再掲)
20	全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロピドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法 全身性エリテマトーデス(初回の副腎皮質ホルモン治療を行っている者に係るものに限る。)	九州大学病院	平26.8.1	令2.9.30	150	13	10	1
22	NKT細胞を用いた免疫療法 肺がん(小細胞肺がんを除き、ステージがⅡA期、ⅡB期又はⅢA期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター	平26.9.1	令2.9.30	56	58	14	44
23	ベベルミノゲンペルプラスミドによる血管新生療法 閉塞性動脈硬化症又はビュルガー病(血行再建術及び血管内治療が困難なものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。)	大阪大学医学部附属病院	平26.9.1	令1.8.31	6	6	5	-
24	腹膜偽粘液腫に対する完全減量切除術における術中のマイトマイシンC腹腔内投与及び術後のフルオロウラシル腹腔内投与の併用療法 腹膜偽粘液腫(画像検査により肝転移及びリンパ節転移が認められないものであって、放射線治療を行っていないものに限る。)	国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院	平26.11.1	令6.7.31	75	75	0	-
25	11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による再発の診断 頭頸部腫瘍(原発性若しくは転移性脳腫瘍(放射線治療を実施した日から起算して半年以上経過した患者に係るものに限る。))又は上咽頭、頭蓋骨その他脳に近接する臓器に発生する腫瘍(放射線治療を実施した日から起算して半年以上経過した患者に係るものに限る。))であり、かつ、再発が疑われるものに限る。)	北海道大学病院	平26.12.1	令1.12.31	99	61	2	2
26	術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツマブ静脈内投与の併用療法 切除が可能な高度リンパ節転移を伴う胃がん(HER2が陽性のものに限る。)	静岡県立静岡がんセンター	平26.12.1	令8.3.26	130	29	48	2
27	リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法 特発性ネフローゼ症候群(当該疾病の症状が発症した時点における年齢が十八歳未満の患者に係るものであって、難治性頻回再発型又はステロイド依存性のものに限る。)	神戸大学医学部附属病院	平27.2.1	令2.1.31	80	79	20	18
29	周術期カルペリチド静脈内投与による再発抑制療法 非小細胞肺がん(CT撮影により非浸潤がんと診断されたものを除く。)	大阪大学医学部附属病院	平27.6.1	令4.10.31	500	335	9	-
30	コラーゲン半月板補填材を用いた半月板修復療法 半月板損傷(関節鏡検査により半月板の欠損を有すると診断された患者に係るものに限る。)	大阪大学医学部附属病院	平27.7.1	令3.12.31	35	11	0	4
31	LDLアフェレシス療法 閉塞性動脈硬化症(薬物療法に抵抗性を有するものであり、かつ、血行再建術及び血管内治療が困難なものであって、フォンタン分類ⅡB度以上のものに限る。)	公立大学法人 横浜国立大学附属病院	平27.11.1	令3.10.31	35	22	0	9
33	骨髄由来間葉系細胞による顎骨再生療法 腫瘍、顎骨骨髓炎、外傷等の疾患による広範囲の顎骨又は歯槽骨欠損(上顎にあつては連続した三分の一程度以上の顎骨欠損又は上顎洞若しくは鼻腔への交通が認められる顎骨欠損に限り、下顎にあつては連続した三分の一程度以上の歯槽骨欠損又は下顎区域切除以上の顎骨欠損に限り、歯槽骨欠損にあつては歯周疾患及び加齢による骨吸収を除く。)	名古屋大学医学部附属病院	平28.1.1	令4.7.21			0	1
34	テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	杏林大学医学部附属病院	平28.1.1	令6.7.10	146	35	32	10
35	ハイパードライヒト乾燥羊膜を用いた外科的再建術 再発翼状片(増殖組織が角膜輪部を超えるものに限る。)	国立大学法人富山大学附属病院	平28.1.1	令2.3.31	40	12	7	3
36	多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍の治療 褥瘡又は難治性皮膚潰瘍(美容等に係るものを除く。)	聖マリアンナ医科大学病院	平28.1.1	令2.6.30	23	23	5	9
38	FOLFIRINOX療法 胆道がん(切除が不能と判断されたもの又は術後に再発したものに限る。)	東京大学医学部附属病院	平28.2.1	令3.7.31	35	17	9	14
39	内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術 子宮頸がん(FIGOによる臨床進行期分類がⅠB期以上及びⅡB期以下の扁平上皮がん又はFIGOによる臨床進行期分類がⅠA2期以上及びⅡB期以下の腺がんであつて、リンパ節転移及び腹腔内臓器に転移していないものに限る。)	東京医科大学病院	平28.4.1	令6.9.30	100	94	12	32

告示番号	先進医療技術名	申請医療機関名	適用年月日 (再掲)	終了予定日	計画時患者数	登録症例数	協力医療機関数	年間実施件数 (平成30年7月～令和元年6月までの実績) (再掲)
40	11C標識メチオニンを用いたポジロン断層撮影による診断 初発の神経腫瘍が疑われるもの(生検又は手術が予定されている患者に係るものに限る。)	北海道大学病院	平28.4.1	令1.12.31	90	74	2	20
41	自家嗅粘膜移植による脊髄再生治療 胸髄損傷(損傷後十二月以上経過してもなお下肢が完全な運動麻痺(米国脊髄損傷学会によるAISがAである患者に係るものに限る。))を呈するものに限る。	大阪大学医学部附属病院	平28.4.1	令4.3.31	10	5	0	-
42	陽子線治療 肝細胞がん(初発のものであって、肝切除術、肝移植術、エタノールの局所注入、マイクロ波凝固法又はラジオ波焼灼療法による治療が困難であり、かつChild-Pugh分類による点数が七点未満のものに限る。)	北海道大学病院	平28.6.1	令7.5.31	180	30	10	4
43	重粒子線治療 肝細胞がん(初発のものであって、肝切除術、肝移植術、エタノールの局所注入、マイクロ波凝固法又はラジオ波焼灼療法による治療が困難であり、かつChild-Pugh分類による点数が七点未満のものに限る。)	群馬大学医学部附属病院	平28.6.1	令5.6.1	130	21	4	8
45	重粒子線治療 非小細胞肺癌(ステージがI期であって、肺の末梢に位置するものであり、かつ肺切除術が困難なものに限る。)	九州国際重粒子線がん治療センター	平28.7.1	令5.6.30	150	33	4	11
46	ゲムシタピン静脈内投与及び重粒子線治療の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、TNM分類がT4のものに限る。)	放射線医学総合研究所病院	平28.10.1	令5.9.30	82	29	3	9
47	ゲムシタピン静脈内投与、ナブパクリタキセル静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う膵臓がん	東京大学医学部附属病院	平28.10.1	【導入相試験】 2020/11/30 【探索相試験】導入 相試験終了から4.5 年間	【導入相試験】 6~18 例 【探索相試験】 35例	9	0	8
48	治療抵抗性の子宮頸がんに対するシスプラチンによる閉鎖循環下骨盤内非均衡灌流療法 子宮頸がん(術後に再発したものであって、同時化学放射線療法に不応かつ手術が不能なものに限る。)	日本医科大学付属病院	平28.11.1	令2.4.18	27	8	0	2
50	ヒドロキシクロロキン療法 関節リウマチ(既存の合成抗リウマチ薬による治療でDAS28が二・六未満を達成できないものに限る。)	慶應義塾大学病院	平28.11.1	令2.8.31	120例 (HCQ群60 例、ヒスト リカルコン トロール群 60例)	HCC群 42 例	0	33
51	水素ガス吸入療法 心停止後症候群(院外における心停止後に院外又は救急外来において自己心拍が再開し、かつ、心原性心停止が推定されるものに限る。)	慶應義塾大学病院	平28.12.1	令2.2.29	360	40	16	32
52	トラスツマブ静脈内投与及びドセタキセル静脈内投与の併用療法 乳房外パジェット病(HER2が陽性であって、切除が困難な進行性のものであり、かつ、術後に再発したもの又は転移性のものに限る。)	慶應義塾大学病院	平29.2.1	令3.9.1	13	13	0	7
53	術後のカペシタピン内服投与及びオキサリプラチン静脈内投与の併用療法 小腸腺がん(ステージがI期、II期又はIII期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	国立がん研究センター中央病院	平29.4.1	令13.11.9	150	25	19	12
54	S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)	関西医科大学附属病院	平29.4.1	令5.5.31	180	0	1	-
55	S-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う初発の胃がん	名古屋大学医学部附属病院	平29.4.1	令2.4.1	50	53	19	30
56(1)	陽子線治療 根治切除が可能な肝細胞がん(初発のものであり、単独で発生したものであって、その長径が三センチメートルを超え、かつ、十二センチメートル未満のものに限る。) 【陽子線治療を実施する施設】	国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院	平29.6.1	令11.12.31	全290例のうち陽子線治療群83例	30例(陽子線治療群12症例)	5	11
56(2)	陽子線治療 根治切除が可能な肝細胞がん(初発のものであり、単独で発生したものであって、その長径が三センチメートルを超え、かつ、十二センチメートル未満のものに限る。) 【外科的治療を実施する施設】	国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院	平29.6.1	令11.12.31	全290例のうち陽子線治療群83例	30例(陽子線治療群12症例)	16	-
57	131I-MIBGを用いた内照射療法 神経芽腫(COGリスク分類又はINRG治療前分類で高リスク群と診断されるものであって、化学療法及び造血幹細胞移植が行われる予定のものに限る。)	国立大学法人金沢大学附属病院	平29.7.1	令2.12.31	8	7	0	5
58	シクロホスファミド静脈内投与及び自家末梢血幹細胞移植術の併用療法 全身性強皮症(ステロイド又は少なくとも一種類のステロイド以外の免疫抑制剤に抵抗性を有するものに限る。)	九州大学病院	平29.8.1	令4.7.31	12	5	0	5

告示番号	先進医療技術名	申請医療機関名	適用年月日 (再掲)	終了予定日	計画時患者数	登録症例数	協力医療機関数	年間実施件数 (平成30年7月～令和元年6月までの実績) (再掲)
59	自家骨髄単核球移植による下肢血管再生治療 パー ジャー病(従来の治療法に抵抗性を有するものであ って、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。)	京都府立医科大学附属病院	平29.10.1	令4.9.30	25	12	4	8
60	ニボルマブ静脈内投与及びドセタキセル静脈内投与の 併用療法 進行再発非小細胞肺癌(ステージがⅢB 期、ⅢC期若しくはⅣ期又は術後に再発したものであ って、化学療法が行われたものに限る。)	横浜州市市民病院	平29.11.1	令4.10.1	350	100	26	46
61	術後のアスピリン経口投与療法 下部直腸を除く大腸 がん(ステージがⅢ期であって、肉眼による観察及び病 理学的見地から完全に切除されたと判断されるもの に限る。)	国立研究開発法人国立がん 研究センター中央病院	平30.2.1	令10.3.30	880	93	19	85
62	TRPV2阻害薬経口投与療法 心不全(十三歳以上の 患者に係るものであって、筋ジストロフィーによるもの に限る。)	独立行政法人国立病院機構 刀根山病院	平30.2.1	令5.3.31	20	15	14	13
64	重粒子線治療 直腸がん(術後に再発したものであ って、骨盤内に限局するものに限る。)	放射線医学総合研究所病院	平30.6.1	令5.5.31	32	15	4	12
65	マルチプレックス遺伝子パネル検査 固形がん(根治切 除が不可能又は治療後に再発したものであって、治療 法が存在しないもの又は従来の治療法が終了している もの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	東京大学医学部附属病院	平30.8.1	平31.1.31	200	153	11	130
66	マルチプレックス遺伝子パネル検査 難治性固形がん (ステージがⅢ期若しくはⅣ期で手術が不能なもの又は 治療後に再発したものであって、治療法が存在しない もの又は従来の治療法が終了しているもの若しくは従 来の治療法が終了予定のものに限り、肉腫を除く。)	大阪大学医学部附属病院	平30.10.1	令2.3.31	200	125	13	108
67	腎悪性腫瘍手術により摘出された腎臓を用いた腎移植 末期腎不全(慢性維持透析が困難なものに限る。)	医療法人徳洲会 東京西徳 洲会病院	平31.2.1	令11.6.30	42	0	1	-
68	切除支援のためのマイクロコイル併用気管支鏡下肺 マッピング法 微小肺病変	東京大学医学部附属病院	平31.2.1	令3.3.31	65	20	7	18
69	反復経頭蓋磁気刺激療法 薬物療法に反応しない双極 性障害の抑うつエピソード	国立研究開発法人 国立精 神・神経医療研究センター病 院	平31.3.1	令5.3.31	76症例(実 刺激群38 例、偽刺 激群38例)	0	2	-
70	自己軟骨細胞シートによる軟骨再生治療 変形性膝関 節症(軟骨欠損を伴うものであって、高位脛骨骨切り術 の適応となるものに限る。)	東海大学医学部附属病院	平31.4.1	令10.3.31	20	0	0	-

※ 記載のない先進医療技術については、既に先進医療から削除されたものであること。(平成元年6月30日時点)

※ 終了予定日・計画時患者数は、医療機関より提出された実績報告(平成元年6月30日時点)から抽出したものであり、実施計画の変更状況等の反映を踏まえ、今後変更する可能性がある。

※ 年間実施件数については、未実施等により実績報告がないものは「-」としている。